

政策課題・提言（産業建設観光常任委員会）

1 渋滞対策について（大丸周辺）	
課題	大丸周辺において、シーズン中各駐車場は、登山客の増、客層の多様化により早朝からそれぞれ満車状態が1日中続いてしまう状態であり、それがさらに渋滞を那須インター方面まで引き延ばしている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在大きな問題となっている当該地にある廃屋を整理しながらの駐車場の整備を検討すべきではあるが、大丸地区を山岳観光の拠点と考え、電気バス等の利用も視野にいれながらのパーク&amp;バスライドのさらなる研究を進める必要がある。</li> <li>・登山客の分散化のために、シャトルバスを利用しながらの既存の登山ルートの利用を促進すること。</li> </ul>
2 渋滞対策について（一軒茶屋交差点付近）	
課題	ロイヤルロード及び板室方面からの那須街道への進入は、一軒茶屋と一軒茶屋南の信号が上手くリンクしていないため、慢性的な渋滞に陥る傾向にある。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一軒茶屋」、「一軒茶屋南」各方向の信号の間隔を検証し、タイミングの調整を図るよう提起する。</li> </ul>
3 渋滞対策について（広谷地交差点）	
課題	広谷地交差点についてシーズン中、全方向にむけて慢性的な渋滞が起こっている。今後の道の駅友愛の森再整備に伴う渋滞も心配される。
提言	道の駅友愛の森再整備計画の際に、十分な渋滞対策に関する検討を進めること。
4 渋滞情報について	
課題	現在発信されている那須街道渋滞情報や、迂回路情報については、正確性や、検索しやすさに難がある。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一軒茶屋交差点上にある掲示板の情報の正確性を上げるよう提起する。</li> <li>・町の渋滞情報を広く周知するため、関係諸団体公式HPとの連携等積極的なPR方法を検討すること。</li> <li>・那須高原スマートインターの一層の利用促進を図るとともに、芦野、伊王野方面への観光情報発信を強化し、観光客の分散による渋滞の緩和を図ること。</li> </ul>
5 観光誘客について	
課題	現在、官民一体となった話合いの場が少なく、お互いの連携が取れていない状況と考える。
提言	町内の観光に携わる関係者と、町及び議会が連携し協力できる体制を整えるため、定期的な意見交換を行える場を設けること。

6 那須街道の歩道整備について	
課題	那須街道は交通量が多く、道路幅も狭い現状である。通学路としても利用されているが、歩道もない箇所もあり、朝夕の登下校時や、交通量の増える観光シーズンには特に危険な状態となっている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路として利用する児童生徒及び、一般歩行者やサイクリストのため、標識設置の要望や反射材付きタスキの配布などの安全確保のための措置を講じること。</li> <li>・車両が安全に運行できるよう、歩道の整備と道路の拡幅を要望すること。</li> </ul>
7 新たな観光誘客施策の実施について	
課題	那須町の重要な産業の一つである観光について、観光客の滞在時間を延ばす施策が必要である。
提言	新たな観光誘客イベントとして、知名度アップと経済効果増が期待される音楽イベント「那須フェス」の開催を検討すること。